NXPowerLite™
ファイルサーバーエディション

データ圧縮ソフト
エヌエックス・パワーライト
導入事例

OCEANBRIDGE
つかえるITを、世界から。

パナソニック ES ネットワークス株式会社 様

＜パナソニック ES ネットワークス株式会社について＞
自社製品のスイッチングハブを中心に、入退室管理などのセキュリティソリューションや、省エネを実現するエネルギーソリューション等を展開。製造開発メーカーでありながら、システムインテグレーターとして提案から設計、構築、保守サービスまで、ワンストップで最適なサービスを提供している。

10G 対応ハイエンドボックス型レイヤ 3 スイッチングハブ
ZEQUO6500/ZEQUO6400 混合 4 段スタック

リプレース検討時は当初 28TB のファイルサーバーが必要でしたが、NXPowerLite の事前シミュレーションにより 15TB のサーバーで運用できることが分かりました。

2015 年 11 月、パナソニック ES ネットワークス株式会社は既存のファイルサーバーのリースアップに伴い、新規ファイルサーバーを導入しました。その際、NXPowerLite ファイルサーバーエディションを導入することで、効率的なストレージ運用とコスト削減を実現しました。NXPowerLite の導入と背景について、パナソニック ES ネットワークスの高崎光弘氏（写真右から 2 人目）と青木節夫氏（写真左から 2 人目）にお話をうかがいました。

（写真右から 2 人目：パナソニック ES ネットワークス株式会社 海外事業推進部 海外商品企画開発センター 部長 高崎光弘 氏。写真左から 2 人目：同社 経営企画部 基幹システム構築グループ 主任 青木節夫 氏。）

写真右端：弊社取締役 川喜田、左端：営業部 亀谷

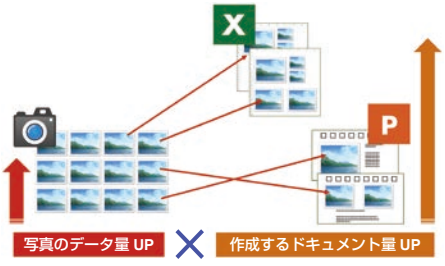
工事写真や提案書など データ容量が加速的に増加し、ファイルサーバーを圧迫

— 導入前のファイルサーバーの使用状況を教えてください。

当社はネットワーク機器の販売やネットワークシステムの設計・構築・保守などの事業を展開しており、工事写真や設計に関するデータや提案書などをファイルサーバーで保管しています。

以前のストレージ容量は 3TB ありましたが、半年に一度ユーザーにファイル整理を依頼していても、ストレージ容量はすぐに逼迫していました。また、ファイル数が多く、同じファイルがディレクトリ内に多数散在して保存されていることもあり、必要な内容かどうかを一つ一つチェックして整理しなければならず、かなりの手間がかかっていました。

— ファイルサーバーを圧迫する原因は何だったのでしょうか。



構造的に増え続ける業務データ

昨今のデジカメの高画質化に伴い、写真は 1 枚で数 MB もの重いデータになっていました。デジカメ写真をエクセルやパワーポイントに貼り付けて提案書や手順書等を作成することがあり、ファイルそのものが非常に重くなります。更新するたびに、ファイルは新規で保存し、過去ファイルと合わせて全て保管する運用だったため、サーバーに保管されるデータ量は加速度的に増加していました。

リプレースに必要なサーバー容量は28TB。NXPowerLite導入により 15TBのサーバーで運用可能に

— どのようなきっかけで NXPowerLite の導入を検討されたのでしょうか。

2015 年 11 月にファイルサーバーのリプレースの時期を控えていました。リプレースを検討するにあたり、単純に必要な容量のサーバーに入れ替えるだけでは今後サーバー容量をどんどん増やしていかなくてはいけません。しかし、それを避けたい理由がありました。

1. コスト
パナソニックグループ全体でコスト削減に取り組むコストバスターズという目標があります。コストバスターズの一環として、新規に導入するサーバーもコストを十分に検討する必要がありました。

新しいファイルサーバーではどれくらいの容量が必要になるのか、次期リプレースの 5 年先までに必要なデータ容量を人員計画や現在のデータ保存容量にもとづいて計算しました。結果、5 年後には 27 ～ 28TB が必要になるという計算になりました。実はそれまでも、過去のデータ量の推移から将来必要になるストレージ容量を予測していたのですが、その予測はおおむね当たっていました。予測が実現するのであれば、コストが過大になる恐れがありました。

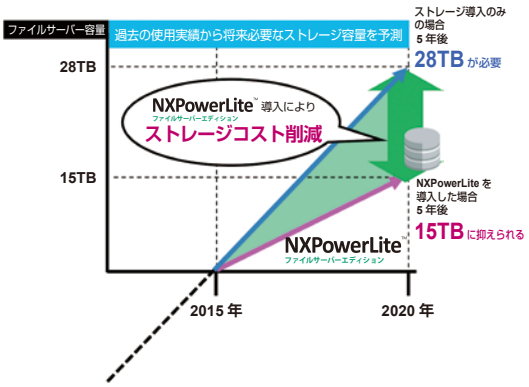
2. 担当者の負担
当社はシステムインテグレーターであり、社内に技術者が多いこともあって、社内に情報システム部門を持っていません。その代わりに、組織を横断するメンバーを集めた「情報セキュリティ委員会」が IT システムの導入や運営を担当しています。つまり全員が兼任メンバーになります。したがって、担当者の運用負荷を最低限に抑え、業務を効率化する必要がありました。

これらの理由から、リプレースとともにデータ量の増加を抑える方策を検討することにしました。

— NXPowerLite の導入を決定した理由を教えて下さい。

もともと NXPowerLite デスクトップエディションを数クライアントに導入しており、画質を劣化させることなく容量を軽量化できるなど、その有効性についてはよく理解していました。

そこで、NXPowerLite ファイルサーバーエディションの体験版を使ってファイルサーバー内を解析し、ファイル軽量化による効果をシミュレーションしました。すると、現在の容量の 3 ～ 4 割の削減効果があるとわかりました。それをもとに 5 年後までに必要なファイルサーバーの容量を計算すると、リプレースに必要な容量は 15TB 程度で済むということがわかりました。



ストレージ導入のみと NXPowerLite 利用の
ストレージ容量シミュレーション比較

「28TB のファイルサーバー」と「15TB のファイルサーバー ×NXPowerLite の組み合わせ」で比較した際に、後者は導入コストも運用コストも下げられることがわかりました。

また、NXPowerLite ファイルサーバーエディションをオーシャンブリッジから説明してもらいましたが、簡単に操作できそうであることが分かり、セットアップも簡単にできます。これは担当者の負荷を大幅に減らすことができます。

コスト面以外にも、情報システム担当業務を兼任で行なっていますので、出来るだけ運用負荷がかからないことが重要と考えています。（高崎氏）

NXPowerLiteには容量オーバーを回避するための保険的役割も

— NXPowerLite 導入による効果はいかがでしょうか。

まだ移行作業中なので、NXPowerLite の導入効果についてはお話しできる段階ではありませんが、これから 15TB のファイルサーバーにデータが蓄積されていくにしたがって、NXPowerLite の効果が現れていくのではないでしょうか。10TB を超えるような大容量のストレージにも対応できる適応力は、NXPowerLite の優れた点だと感じています。

— その他に NXPowerLite 導入のメリットはありましたか？

実は今回の導入の際、社内から「ファイルサーバーを新しく入れるのに、さらに NXPowerLite まで必要なのか」という声も上がりました。ですが、もし新たなファイルサーバーのリース期間内にストレージ容量が上限に達した場合、運用面ではバックアップ構成の変更や、さらに新たなストレージを追加することとなれば、コストも手間もかかってしまいます。

しかし NXPowerLite を導入しておけば、そのような状況が訪れたときのリスク回避策になります。そもそも 1 ライセンス当たりの価格が非常に安いので、保険的な意味合いで導入しておいても十分に価値があると判断しました。

遠隔地レプリケーションの回線負荷軽減にもNXPowerLiteが役立つ

— ファイルサーバーの運営管理に関して、今後はどのような展開を考えていますか？

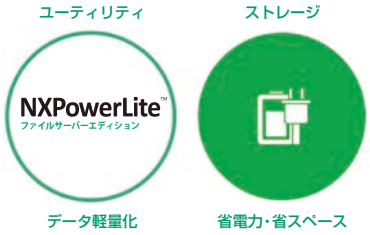
2015 年 10 月から 11 月にかけてファイルサーバーの設置が完了し、12 月中にデータの移行完了、2016 年 1 月末から稼働というスケジュールで進行しています。新たなファイルサーバーを利用する環境は全社で 150 ～ 200 クライアントで運用する予定です。

データ量が予測を超えて、ストレージの途中増設が必要になった場合にかかるコストより NXPowerLite の導入コストの方が安価です。
青木氏）

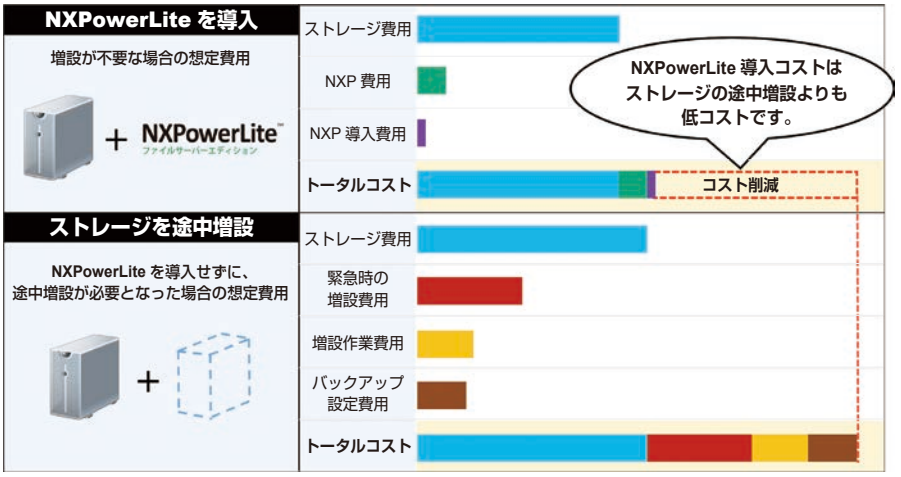
現在は、障害対策や負荷分散を目的に本社内でレプリケーションを実施していますが、今後は BCP（事業継続計画）の観点から、遠隔地のサーバーでレプリケーションを行うことを検討しています。離れた拠点間での回線の負荷を軽減するためにも、NXPowerLite が役立つと考えられます。

— NXPowerLite に期待することについてうかがいます。

次回ファイルサーバーのリプレース時期が来るのは 5 年後ですが、それまでに NXPowerLite を有効活用し、ルールも合わせて決めていきたいと考えています。理想としては、5 年後のリプレース時にもストレージ容量を今回と同じ 15TB かそれ以下にしたいと考えています。NXPowerLite にはさらなる機能強化を期待しています。



ストレージリプレースの条件



ストレージを途中増設した場合と NXPowerLite を導入した場合のトータルコスト比較

Microsoft Office ファイル・JPEG・PDF ファイルを最大 98% も軽量化！
NXPowerLite 体験版 無料ダウンロード **https://www.nxpowerlite.jp**

OCEANBRIDGE
つかえるITを、世界から。

NXPowerLite国内総販売代理店
株式会社オーシャンブリッジ
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F
Web：https://www.oceanbridge.jp/
Email：sales@oceanbridge.jp
TEL：03-6809-0967（営業部）

● NXPowerLiteはNeuxpower Solutions Ltd.の登録商標です。
● その他の社名または商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ご購入に関するお問い合わせは

この印刷物の内容は、2015年12月時点のものです。